

ケーター製作所、住友ファーマと共同で再生医療向け培養・充填工程自動化技術の開発を推進

ー 2025 年 7 月 9 日～11 日開催のインターフェックス Week /再生医療 EXPO にて試

作機を展示ー

株式会社ケーター製作所（本社：東京都墨田区、以下「ケーター製作所」）は、医薬品向け充填システムの開発・製造において 114 年の歴史を持つ企業です。無菌医薬品の充填ラインにおいて国内トップレベルのシェアを誇り、近年では再生医療分野における製造工程の自動化にも積極的に取り組んでいます。

ケーター製作所は、住友ファーマ株式会社（本社：大阪府大阪市中央区、以下「住友ファーマ」）が進めるパーキンソン病治療向けの iPS 細胞由来ドパミン神経前駆細胞製品（以下「本製品」）の一部の製造工程（培養・充填工程）の自動化のフィージビリティ検証を行っております。

ケーター製作所は、2025 年 7 月 9 日（水）～7 月 11 日（金）に東京ビッグサイトにおいて開催の「インターフェックス Week 東京／再生医療 EXPO 東京 -2025-」のブースにてフィージビリティ検証に用いた試作機を展示いたします。本件技術開発にご関心の方はお立ち寄りください。

■ 背景：

近年、再生医療分野の発展に伴い、細胞培養や細胞製品の充填といった工程のスケールアップが求められています。しかし、従来の手作業中心の製造では、熟練者に依存した作業となり、細胞製品の量産体制の構築には自動化が欠かせない技術となることを見込んでいます。

ケーター製作所と住友ファーマは、将来的な課題への取組みとして、本製品の製造工程の一部である、細胞播種、培地交換、細胞塊の回収と充填等の一連の工程を自動化した自動充填機の開発を進めてきました。これまでのところ、その技術的な確認を目的として、当該自動充填機の試作機を作っていました。それを用いて、両社共同で細胞製造の一部工程の自動化のフィージビリティ検証を行ったところ、手作業と自動化作業との間で、細胞製品の品質に大きな影響がないところまで確認をしており、引き続き製造工程の自動

化ラインの構築に向け、さらなる技術開発を推進してまいります。

なお、住友ファーマは、本取組みと並行し、再生・細胞医薬の事業化を一層加速するため、2025年2月1日付けで住友化学株式会社（本社：東京都中央区）と新たな合併会社、株式会社 RACTHERA（本社：東京都中央区、以下「ラクセラ」）を設立し、同事業（の創薬等）を継承させています。

今後、ケーテー製作所は、ラクセラとの連携を継続し、再生医療等製品の製造工程（培養・充填工程）自動化に向けたさらなる技術開発を進めてまいります。

ケーテー製作所は、これからも最先端の充填技術を活かし、再生医療分野における自動化ソリューションの提供を加速してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ケーテー製作所

広報担当：浅野大介

TEL：03-3624-3631

Email：info@ktmfg.co.jp

Website：https://www.ktmfg.co.jp/